

令和6年度第1回北海道函館聾学校学校運営協議会（13:00～14:50）

- 1 開会 橋谷教頭(事務局)
- 2 学校長挨拶 門真校長
- 3 出席者確認及び自己紹介
事務局の紹介（橋谷教頭、新出、大高、佐々木事務長）
出席9名 欠席1名
※氏名は省略
- 4 辞令交付 机上配付 ※新たな方に交付
- 5 会則について 橋谷教頭（事務局）北海道函館聾学校学校運営方針について
昨年度から変更はない。不明な点があれば後日で構わないので連絡いただきたい。
- 6 会長及び副会長の選任
事務局の方で今年もM. K様、K. Y様にお願いする。→了承される。
- 7 協議・連絡報告
司会進行：丸藤様
 - (1) 令和6年度北海道函館聾学校学校経営方針について（校長）

学校教育目標に向けて作成している。昨年度と大きく変わっていないが内容の精査を行ったり、優先順番など変えていきながら今年度のものとしてきた。教育方針は一昨年、昨年、今年とだんだん深化してきている。1年目は前の校長が考えた教育方針。実物・実体験・本物に触れさせる教育活動を進めていくこととし、令和4年から5年度はそれらを経営方針に入れた。昨年度のうちに実物・実体験・本物の他に「優れたもの」を追加した。この「優れたもの」を付け加えることによって、取り組みに深みが増していった。このように実物・実体験・本物・優れたものに触れさせ、学ぶ喜びを実感できる授業改善に努めるとともに、自分の力で考え、判断し、表現できる子どもを育成するとした。これらのことは分かりやすく、先生方にも受け止めてもらえていった。

令和6年度の重点には7項目があり、学校設定項目として先生方に自己評価シートというものを作ってもらっている。項目から1つ選んでもらい自分の目標とするということを取り組んでいる。

次に昨年度皆様から御助言をいただいたことについての取り組みを報告したい。

 - ①HPに校長の方針を載せたこと。
 - ②A I ドリル（スマイルネクスト）を取り入れたこと。
 - ③教職員の研修の中身を保護者に伝えたこと。（別紙資料）

- ④働き方改革の面でどんなふうに働いているのか、勤務時間など。他の学校は留守番電話対応になっているが、本校は古くてできていない。保護者に理解していただけるようお知らせした。
- ⑤働き方改革コアチームで取り組んだ中身をお知らせ文書を作成し、保護者に配付した。
- ⑥時間外在校等時間について、月に45時間、年間360時間以内という規定がある。法で決まっているものである。本校の先生方でも45時間を越える先生がいる。今年は35時間を過ぎたら、そろそろ気を付けてほしいということで職員にメールを送っている。5月にはもの凄く改善されている。
- ⑦ボランティアバンクの取り組みとして、お互いを知るところを目的にした交流を計画している。今年度は2回交流の機会を設けた。1回目はいろいろなテーマで話をして親睦を深める時間を作りたい。2回目は学校運営協議会の日に皆さんと一緒に、給食を食べたいと考えている。栄養教諭や先生方にも協力してもらいバイキング給食を行う。給食代380円となる。
- ⑧マスコットキャラクター募集について、金曜日に小学部以上は全員の応募があった。選考委員にM. K様やK. Y様、T. S様、生徒会会長にも協力していただく。
- ⑨2年前に植えた桜の木が大きくなった。今年もお花見給食を行った。チューリップやあやめが咲いてきれいであった。東深堀町会さんからひまわりの種をいただいた。そのひまわりも校長公宅横に植えている。
- ⑩HPは3月から3万5千のアクセス数があった。

M. K様 : 質問などあればお願いしたい。

K. Y様 : スマイルネクストは深堀小学校でもやっている。自分のペースで勉強できるので良い。先生たちの働き方改革とか勤務時間などがあるが、保護者の方がその日のうちに気軽に相談したいということになったとき、保護者の方が先生に相談する方法や手段はどのようになっているのか？

校長 : 欠席の連絡は自分で打ち込んで連絡できる。また、いつでもメールで相談できる体制ができています。

K. Y様 : 自分の子どものことについて相談したいことがあるとき、朝はまだ出勤前。私の勤務時間が終わったら先生の勤務も終わっている。休み時間などに電話を掛け損ねると、もう手段がないということがあるので、そういう工夫があるととても嬉しい。

校長 : 教員全員で連絡の内容を見ることができる。守秘義務があるので、我々の中で共有できるように対応している。

K. Y様 : 小学校にはないのでうらやましい。

M. K様 : 「すぐれたもの」について、「何でも鑑定団」というテレビ番組があるが、どうして鑑定の先生が何でも分かるかというと、本物と優れたものだけをただひたすら見ていったので、結果あのような知識を付けられている。「すぐれたもの」の取り組みはすごく良いと思う。

M. K様 : 学校経営方針についてこの場で承認していただけるか？

全員 : ※拍手で承認される。

8 授業参観 13:30～14:00

9 学校の取り組み スライドでの説明

※新出、大高が説明

10 ボランティアバンク スライドでの説明

※橋谷教頭が説明

M. K様 : 何かアイディアがあればお願いしたい。

T. S様 : ボランティアでは子どもと交流ができるので非常に楽しくやらせてもらっている。ゴミ拾いでは花のある道を歩いたが、子どもたちはゴミを拾うために一生懸命であった。「ぶらり深堀」というのをやっており、30分ぐらいの散歩コースを花を見ながら歩くと1時間半かかる。そのような楽しみ方もある。

K. Y様 : 子どもたちが地域にボランティアに行くというのはどうか？地域の高齢者の役に立てる。逆に自分たちが出ていくなど、クラブ活動みたいなものがあればすごく良い。見るものも変わるような気がする。有斗高校の生徒は家に入らないで、一人暮らしの家での窓ふき、枝払い、草取り、窓の外側を洗うなど、月1回行っている。触れ合いにもなったり、高齢者の生活が見えたりして学びがある。会長さんをお願いして、行うことができるのでは？

M. K様 : 受け入れるということもボランティアである。何か取り組むことがあれば聾学校までメール等で連絡していただければよいのでは。

11 その他 報告事項について

① 北海道聴覚障害研究大会について

校長 : 年に1回北海道の聾学校で行われている大会である。本番に向けて1学期に研究授業を行う。特別支援教育センターの方、道教委、東北福祉大学の先生をお招きするなどし、9月の本番には全道の聾学校の関係者に見ていただきさらに授業力の向上を目指す。

A. M様 : 研究授業のテーマはあるのか？

教頭 : 「自ら学び、考え、伝え合う力を育む指導法の研究」というところを基に授業を行うことになっている。

②次回の予定 2回目(11月15日) バイク給食の予定。

3回目(2月18日) 時間は未定

12 参加者の方から一言（一部抜粋）

- K. N様 : 昨年から参加した。1年経つと子どもたちは凄く成長していて、感動した。
- A. M様 : 1年生にあがった児童の成長が見られた。先日、聴覚障がいの方と話をする機会があったが、筆談するなどしてやり取りを行った。そういうことにも配慮していくことが大事であることが分かった。
- F. H様 : 地域の方に見守られていることに感謝している。息子は中3なので終わりですが、卒業生も読み聞かせに参加している様子などを見て、次の世代に協力できればと思った。
- T. S様 : ボランティアに参加させてもらっているが、取り組みとしては非常に丁寧にやっていたける反面、先生方が御苦労されているのではないかな。今後はボランティアだけで動けるようになっていくことを目指していけばいいと思う。
- T. S様 : 初めて子どもたちが学んでいる様子を見て、私がいたときと変わっていて、びっくりした。今は勉強しやすい環境である。先生方も手話を使いながら話をしているので、勉強に集中しやすいと感じた。ボランティアについては仕事をしていてなかなか行けないが、もっと呼びかけると集まるかと思う。私も呼びかけていきたい。
- N. Y様 : 運営協議会の月曜日は仕事がある。都合がいいときにはそれに併せて決めてよい。6月の運動会は晴れて良かった。子どもたちが生き生きしていた。
- K. Y様 : 先日の運動会で子どもたち1人1人に合わせて頑張れるような取り組みを工夫して行っていた。頑張りに対して達成感を感じさせることがいろいろなところでとり入れられていた。幼稚部のきらきらゴール、お母さんからメダル、拍手をもらうなど細かな配慮が続けられるようなモチベーションがもてる取り組みがすばらしいと思って感動した。
- M. K様 : HPを沢山みてもらっているが、地域の人達にこういう素晴らしい取り組みを知っていただくということがやっぱり大切であると来るたびに思っている。学校年間計画を見ると先生方がとても忙しいことが分かる。先生方が元気でない子どもたちも元気にやっていけないので、先生方も元気でいてほしい。

連絡

- 校長 : 6月末で特別支援学校専門支援員がいろいろな事情で辞めるため、次の特別支援学校専門支援員を探している。毎日5時間、月25時間働くことになる。教員免許がなくてはならない。該当する方がいれば紹介をお願いしたい。

13 閉会